

会議録

| | |
|------------|---|
| 会議の名称 | 第6回 部活動地域展開検討委員会 |
| 開催日時 | 令和 7年 7月 7日 (月) 15時～16時45分 |
| 開催場所 | 市役所5階 5-1会議室 |
| 出席者 | 江崎委員長、赤羽副委員長、碓井委員、堀池委員、宮坂委員、谷本委員、川又委員、阿藤委員、高橋委員、太田委員、崔田委員、山岸委員（代理出席）安部委員、木島委員、冠委員、郡司委員 |
| 事務局 | 教育部教育指導課 下斗米課長、松岡主幹 |
| 議題 | 1 スポーツ庁最終とりまとめ 2 体験会の説明 3 座間市部活動地域展開基本方針について |
| 資料の名称 | 1 第6回部活動地域展開検討委員会スライド資料 2 座間市部活動地域展開基本方針（案）スライド資料 |
| 会議の結果 | |
| 議題1 議題2 | 1 スポーツ庁最終とりまとめについて説明、質疑 2 体験会の説明、質疑 3 座間市部活動地域展開基本方針について説明、質疑 |
| 議事の概要 | |
| 事務局 | スポーツ庁最終とりまとめ説明。 （資料1参照） 体験会について説明（スポーツ課より） 座間市部活動地域展開基本方針について説明 座間市部活動地域展開基本方針第3章について説明 （資料2参照） ～協議における主な意見等～ |
| 委員 | 運営団体を早く決定してほしい。 種目別会議については、運営団体が決定後に行ったほうがよい。 |
| 委員 | 大会運営や中学校体育連盟（以下「中体連」という）のことをスケジュールに記載いただきたい。 |

これらについての考え方を確認する時期についてスケジュールに含める。

また、県中体連はどのように考えているのかを示してほしい。

事務局

中体連については、協議していく動きが始まったところである。

委員

Aグループ

(グループ協議内容) 座間市部活動地域展開基本方針第3章について勤務時間とその後の時間、平日と休日の連携の取り方が重要である。他市の例では、開放団体利用時間前に生徒が活動し、その後は保護者がみている。また、部活動を4時半までとした例もある。教員としては、5時まで教員、その後はクラブで指導できる棲み分けがあればよい。

委員

Bグループ

子どもたちが地域で様々なスポーツ・芸術を体験できるのがよい。現在の部活動をそのまま継承するのは厳しい。

考え方がどうしてもスポーツ、試合、中体連につながってしまう。

目的は持って行動したい。

平日と休日を二次元的に考え、兼職兼業へつなげたいが、令和4年の教員アンケートでは、兼職兼業をやってもよい教員は、3割しかいなかった現状がある。

文化は体験型がよいのではないかと思う。体験させてくれるサークル等があれば、クラブとして登録してくれるとよい。吹奏楽は楽器の問題で難しいが、楽器ごとであれば指導者はたくさんいる。楽器は高価なので、卒業後も続けられるとよい。

委員

Cグループ

クラブのガイドラインについては、今の部活動のガイドラインに沿ったものにしたい。

平日部活動は現実的に難しいのではないか。退職した教員でやってくれる人があれば、平日4時から1時間程度指導してもらうなどはどうか。

部活動は教員だけでなく、地域の人も入り、教員も地域に入っていくのが目的である。

第3章の3のように事務的なことを担うところが重要。

資格のほか、事務的なこともわかる人が必要。

事務局

第3章については、スポーツ庁のとりまとめや様々な観点を考え、記載していきたい。